

経営効率化の概況

2022年度の経営効率化の取り組み

- 北電グループ経営基盤強化推進委員会のもと、カイゼン活動などの取り組みを通じ、資機材調達コストの低減や工事工程の見直しなど、効率化・コスト低減の積上げとして、513億円の効率化を達成しました。

費用項目	主な取り組み内容	2022年度
人件費	・5,000人体制に向けた業務効率化による給料手当の削減	1 1 億円
需給関係費	・経済性の高い電源の有効活用 （苫東厚真発電所等の定期検査期間短縮による燃料費の低減） ・燃料調達の工夫	2 5 7 億円
設備投資関連費用	・新工法の導入による工事費の低減	5 億円
修繕費	・効果的な発注方式適用等による資機材調達コストの低減 ・工事内容・工法、工事実施時期の見直し （設備補修工事の厳選、工事・点検周期の見直し）	1 2 8 億円
諸経費等	・効果的な発注方式適用等による資機材調達コストの低減 ・委託内容の見直し （仕様の精査）	1 1 2 億円
合計		5 1 3 億円

(注) 1 北海道電力株式会社と北海道電力ネットワーク株式会社の合計値を記載

2023年度の経営効率化の取り組み

- 2023年度の経営効率化については、北電グループ経営基盤強化推進委員会のもと、カイゼン活動などの取り組みを通じ、効率化・コスト低減を一層強力に進め、電気料金の見直しにおいて反映した経営効率化計画630億円程度を確実に達成するとともに、さらなる効率化の深掘りに取り組んでまいります。

◆ 今回の料金改定に織り込んだ経営効率化額の内訳（2023年度）

費目項目	継続的な経営効率化の取り組み		今後の経営効率化の取り組み		合計
	主な取り組み内容	金額	主な取り組み内容	金額	
人件費	・組織・業務運営体制の見直し ・カイゼンによる業務効率化 ・独身寮等の廃止	4	・組織・業務運営体制のさらなる見直し ・カイゼン深化、DX等によるさらなる業務効率化	3	
需給関係費	・経済性向上に向けた電源構成の最適化 ・経済性の高い電源の有効活用 ・燃料調達工夫（契約多様化等） ・電力需給運用の最適化	256	・燃料調達のさらなる工夫（低品位炭調達拡大、LNG長期契約拡大等） ・相対購入におけるさらなる調達価格低減	151	
設備投資関連費用	・定期点検の周期延伸 ・新技術、新工法の開発・導入	1 (13)	・カイゼン深化、DX等によるさらなるコスト低減 ・上流調達活動等によるさらなる資機材調達コストの低減	1 (21)	
修繕費	・工事実施内容、範囲の見直し ・委託実施内容、範囲の見直し	80		34	
諸経費等	・価格交渉力の強化や効果的な発注方式適用等による資機材調達コスト低減	70		27	
合計		411		216	627

※設備投資関連費用の効率化額は、減価償却費および事業報酬に反映されている金額を記載しています。

金額下段（ ）内は設備投資への反映額を示しています。

※端数処理の関係で合計が一致しない場合があります。